

笑顔 幸せ

みんなでつくる

あったかす

たかす議会だより

子、雀、草

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 松平さくら

2025年2月5日 発行

No. 197

令和6年12月定例会号

鷹栖町はたちのつどい



孔雀草

〈もくじ〉

- 4 誰もが輝けるまちづくり
第4回定例会概要
- 6 佐竹晃議員に対する懲罰動議・辞職勧告決議
- 8 5名が一般質問
青野・斉藤・片山・川原・林川
- 14 岩見沢視察（経済福祉）ほか
委員会レポート
- 15 条例改正で反対意見
第4回・第5回臨時会
- 17 次回定例会のご案内
クイズほか



過去の議会報「孔雀草」で関連のある記事を表しています。



1月11日には「はたちを祝いたいおじさんおばさんの会」による会場設営がありました。この会は2011年に発足し、前日や当日の準備に携わっています。



はたちのつどい

実行委員の皆さんと「語ろう会」

1月12日に開催された「はたちのつどい」。今回20歳になる皆さんが主体となって企画・運営を行い、思い出に残る式典となりました。

これに先立ち、鷹栖町議会では実行委員の皆さんと「語ろう会」を開催しました。

若年層の意見を直接聞き、今後の議会活動に反映させること、そして、議会や議員の活動を若者に知ってもらい、まちづくりや政治を身近に感じてもらうことが目的です。



唐崎さん 鷹栖在住。鷹栖町役場に勤務。剣道有段者。



丸山さん 鷹栖在住。鷹栖高校出身。サバイバルゲーム好き。



斉藤さん 鷹栖在住の高専生。サウナが好き。



藤信さん 茨城県在住の大学生。本州での就職を希望。

当日は2グループに分かれて開催しました。

青藤さん 藤信さん

青野 片山

※片山以外はオンライン参加

地域の特徴と生活環境

鷹栖町は自然豊かで穏やかな地域ですが、交通の便に課題があると指摘されました。

特に車を持たない学生にとっては移動が制限されるので困ったというお話がありました。

思い出の場所は

藤信さんは子供時代に虫捕りや、親水公園でよく遊んでいたそうです。

斉藤さんは体育館で遊んだり、公園でサッカーをしたりしていたそうです。

議会の印象は

議会への関心は薄く、わざわざ自分が投票に行かなくてもいいと考える若者が多いとのことでした。

しかし、茨城県在住の藤信さんによると東京都事



選の時には東京に住民票がある友人たちが大いに盛り上がっていたそうです。SNSの活用や、若者の生活に直結する取り組みが鍵になるかもしれません。



唐崎さん 丸山さん
阿戸 林川 川原

仕事に生きる経験

唐崎さんは中学校で剣道部を立ち上げたことをきっかけに町の人々となつながら役場職員を目指すきっかけとなったそうです。

丸山さんは交通警備の仕事に就いており、鷹栖高校出身です。高校時代に文化祭開催に携わった経験や、介護初任者研修で学んだことが仕事にも役立っているとのこと。



外出するのはどう？

買い物は主に旭川市、レジャーで札幌に行くことも

あるようです。

丸山さんからはパレットヒルズでサバイバルゲームができれば魅力的だという意見も出ました。

選挙や議会への意識

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことで、2人とも有権者として選挙の経験を持っています。

唐崎さんは同世代の意見や経験豊富な大人の意見を参考に、丸山さんはインターネットやニュースを参考にしているそうです。

議会広報については、自分の興味のある分野をパラパラと眺めることはあるようですが、全体的に字が多い印象も持っているとのことでした。

Interview Takasu

自分は今まで、町議の方は広報で見るくらいでしたが、今回の語るう会では実際に会って鷹栖町の教育や除雪などの生活インフラについて話すことができ良かったと思います。

今後もこのような機会があれば参加したいと思います。

丸山 裕翔さん（北野地区）



まちづくり」 柔軟な姿勢示す



定例会の冒頭、4期目の再選を果たした谷町長から「町政担当に際しての所信表明」演説がありました。これまでの経験を活かしながら、社会にあった施策を柔軟に取り入れ、町の将来像「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」の実現に向けて取り組む意気込みを語りました。

具体的な施策として公設民営の商業施設を誘致した鷹栖市街地の活性化、鷹栖保育所の発展的統合、新たな交通体系の実現、子ども発達支援センターの新設などが挙げられました。

不登校の未然防止のため、北海道教育大学旭川分校と連携し、中学校で実施していた相談や学習支援を小学校にも拡充します。大学教員2名、学生19名が支援に参加しています。

不登校の現状
(2024年10月現在)

- 小学校 6名
(ほかに不登校傾向4名)
- 中学校 10名
(ほかに不登校傾向2名)

川原議員 この事業の成果は。また、この事業で不足する部分は。

教育課長 児童生徒と年齢が近い学生が関わることで、よい刺激となり、教員に言えないことも学生に話せる環境ができました。

児童生徒健全育成事業
2024年6月定例会で提案された事業です。
195号 4頁
40万円

補正 不登校対策 小学校にも拡充

教育大と連携した鷹栖町独自の取り組み

定例会のあらまし

令和6年第4回定例会を12月14日(土)～16日(月)に開催しました。15日は休会です。14日は町長の所信表明の後、5名の議員が一般質問を行いました。

16日は議案審議5件、農業委員の任命同意1件、議員発議3件(動議含む)、決議1件があり、すべて可決しました。また、報告1件がありました。

議案一覧はこちらから

Interview Takasu



町立学校に臨床的に関わりながら、学生だからこそ持てる視点で、児童生徒を支援していきたいと考えています。

国語教育専攻2年生
辻口 ひよりさん

教員の業務軽減、教員を目指す学生の学びになっており、児童生徒・教員・学生の三者にとって効果的な取り組みとなっております。学生の継続的・安定的な確保が難しいという課題があります。

また、登校できていない児童生徒へのアプローチが十分ではないため、今後の調査研究が必要です。



「誰もが輝ける」 谷町長4期目の所信表明

ふるさと納税 寄付額の推移 (概数)

2024年度見込み
1億5000万円 (7000件)

2023年度
9100万円 (4100件)

2022年度
9700万円 (4400件)

2021年以降、ふるさと納税寄付額は減少傾向でしたが、米不足の影響で増加したため、関連する事業費を増額しました。

補正 ふるさと納税 過去最高寄付額に 令和の米騒動の影響で寄付増加

川原議員 当初予算時に検討していた新たな返礼品やポータルサイト増加の進捗状況は。

まちづくり推進課長

新しい返礼品としてジン・おむすびが増えました。ポータルサイトも2件増やしています。

町ではプロジェクトチームを作り、サイト内の商品の画像や説明の改善を図っています。

Interview Takasu

9年前、農業を始めるにあたり、鷹栖町役場の方や近隣住民の方に本当にお世話になりました。町に恩返しが出来ないか？ということでふるさと納税を開始致しました。結果、町税の増加に寄与でき、かつ鷹栖の美味しいお米を全国の皆様に広めることが出来、大変嬉しく存じます。

(株)たかすタロファーム代表 平林 悠さん



補正 原料トマト 作付け支援を約束 債務負担行為1030万円の補正

トマトジュース「オオカミの桃」原料トマトの生産意欲向上を図るための債務負担行為(あらかじめ次年度以降の債務を約束することを予算で決めておくこと)を決定しました。

○秀品奨励金

秀品出荷実績に対して1キロ20円の奨励金を支援します。

600万円

○接ぎ木苗購入を補助

購入費に対して2分の1の助成を行います。

430万円

どちらも2024年度からの継続事業です。

町長

ブランド品としての「オオカミの桃」をしっかり守っていきます。

新規に作付けする方がなかなかいない状況です。

2025年度予算では、新規に作付けしてもらえるような補助金も含めて振興公社とも協議し、総合的に支援していく考えです。

同意 新農業委員に 本谷 義孝さん

農業委員会委員に欠員が生じたため新たな委員の選任に同意しました。

任期は2026年7月19日までです。



本谷 義孝さん
JAあさひかわ理事としても活躍

青野議員 生産者は大変な思いで原料トマトを作られています。行政として、振興公社と今後に向けた議論をする考えは。

佐竹晃 議員に対して 懲罰動議と辞職勧告決議を可決

- 経緯 - 「業務多忙」を理由に複数回委員会を欠席したことが発端

10月21日	広報広聴常任委員会を「業務多忙」を理由に複数回欠席。そのうち1回は運転免許の更新に行き、その様子を SNS に投稿する
11月11日	議員協議会で欠席理由について協議 10月21日の欠席理由について追及されるが、虚偽の説明を行う
11月12日 - 21日	佐竹議員がSNSにて議会を愚弄する虚偽を含む投稿を行う
11月21日	議長・副議長より佐竹議員へ聞き取り、口頭注意
11月21日 - 25日	さらに議会軽視と思われる投稿を続ける
12月2日	議長・副議長より佐竹議員へ2回目の口頭注意
12月12日	佐竹議員は議員協議会でSNS投稿への謝罪を行うが、10月21日の欠席理由に虚偽があったことや謝罪文にも虚偽が判明する
12月14日	佐竹議員に対して懲罰動議、懲罰特別委員会を設置
12月16日	佐竹議員に対して懲罰・辞職勧告決議を可決

懲罰特別委員会の構成



■委員長 舟根輝好

■委員

阿戸伸一 安達一幸 林川伸二 青野敏

桑原芳文 斉藤哲子 川原允 片山兵衛

定例会は2日目に「佐竹晃議員に対する懲罰を求める件」と「佐竹晃議員に対する議員辞職勧告決議」を審議しました。
懲罰は議会内での虚偽の発言についての処分です。議員辞職勧告決議は議会内外の行動について議員の資質に欠ける行動があるとし、辞職を勧めるものです。

懲罰
懲罰を求める件 全会一致可決
不当な欠席理由に対する議会内で虚偽の発言

懲罰内容

公開の議場による陳謝

12月12日虚偽の発言を受け、14日に舟根輝好議員を委員長とする懲罰特別委員会を設置。
懲罰事犯の有無や懲罰処分の種類および内容について審査を行い、公開の議場による陳謝を全会一致で可決しました。
※ SNS等の発信は議場外の行動であり懲罰事犯に該当しません。
懲罰特別委員会は議員協議会での虚偽の発言が議会規則102条に違反したことを認め、懲罰を科すことが相当であると判断しました。



報告書全文はこちらから

決議 辞職勧告決議

賛成多数

一連の言動は鷹栖町や町民の名譽を著しく損なう。10月21日から12月12日までの議場内外の佐竹晃議員の言動について議員の資質に欠けるとして議員辞職勧告を5対4の賛成多数で可決しました。
辞職勧告決議は勧告である以上、自発的な辞職を促すものであり、可決された場合も法的拘束力はありません。

可決 反対4名

阿戸 安達 林川 桑原



全文掲載！ 辞職勧告決議文！

提出者 舟根輝好
賛成者 青野敏 斉藤哲子
川原允 片山兵衛

何が問題なの？ ここがポイント

10月21日虚偽の理由で委員会を欠席し、自身の SNS 投稿によりその事実が判明しましたが虚偽を続けました。

何が問題なの？ ここがポイント

SNS 等で議会を批判すること自体は問題ではありません。しかし、議会を愚弄する内容と虚偽が含まれ、口頭注意後も議会を軽視する投稿を続けました。

何が問題なの？ ここがポイント

12月12日、謝罪の場での発言にも虚偽があり、議員としての資質が問われました。

佐竹晃議員に対する辞職勧告決議

議会議員は住民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、高い倫理観と見識をもって、町の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。

しかし、佐竹晃議員は、広報広聴常任委員会を「業務多忙」を理由に複数回欠席していたが、欠席した委員会前後の他団体の研修等には参加していた。さらに欠席した広報広聴常任委員会の日において運転免許の更新に行き、その様子を SNS に投稿するなど、欠席理由が著しく信憑性に欠けている。

この日の欠席理由について確認した際には、「業務多忙」と偽り続け、直後に複数の SNS で議会を愚弄する虚偽の内容を含む投稿を行った。

一例として「議員協議会の中で稲刈り時期に広報委員会を2回欠席したことを責め込まれる、謝罪はないのか！正当な理由ではなかったか。ついでに免許更新で公務を欠席したとわけのわからんことも言われたので、とりあえず反論しときました」などの内容です。さらに、議長と副議長からの再三の口頭注意にもかかわらず、「こんな組織にいても疲れるだけ(笑)」「時間のムダだよな」と議会を軽視する投稿を続けた。

12月12日開催の議員協議会での謝罪では、運転免許更新の件について虚偽の説明を行い、また、口頭注意後の投稿については「直接議会関係について投稿した意図はありません」と述べたが、これも事実と異なることが明らかになった。

これらの行為は、議員の品位を著しく損なうものであり、議会の信頼を大きく失墜させるものである。加えて、このような行為は鷹栖町や鷹栖町民の名誉をも著しく汚す言語道断なものであり、鷹栖町議会議員としての資質に欠けると言わざるを得ない。

よって、鷹栖町議会は、佐竹晃議員に対し、自らの意思と責任により、議会議員の職を辞することを強く求め、勧告するものである。

以上、決議する。

令和6年12月16日

討論

許せぬ言動と意見は一致、辞職勧告の妥当性で賛否分かれる

反対 桑原 芳文



今回の一連の行動は議員として誠に許しがたい事案でありますが、懲罰特別委員会ですでに「公開の議場における陳謝」が行われ懲罰を受けています。本人も反省し後悔しています。今後、議員が職務を改善する機会を与えるべきと考え、決議案には反対します。

反対 林川 伸二



SNS の投稿を見ると議員辞職が良いと思います。議会内会議での嘘の数々も許しがたいです。

一方、罪を犯しているのであれば、議員辞職勧告もあるでしょうが、法令に明文がなく、議会が特定の議員の資質をもって、進退問題を議決することは憲法第15条に抵触し、多数派による少数派の排除に繋がるので反対します。

賛成 川原 允



議会は町民との信頼を構築し、活動しなければなりません。一連の行動は議会と町民の信頼関係を大きく失墜させるものです。






12月12日の謝罪でも用意されたものは虚偽の謝罪文であり、真意を求めても虚偽を続けました。佐竹議員の何を信じれば良いのか私にはわかりません。

賛成 青野 敏



委員会欠席理由の免許更新を多忙と偽る繰り返しの虚偽。さらにSNSでの虚偽投稿や議長・副議長注意後の議会軽視の投稿継続など、議員の品位を著しく損ない、議会の信頼を失墜させた。住民代表としての職責を自覚せず、議会の名誉を重んじないこれらの行為は許しがたく、議員辞職勧告決議は相当と判断する。

傍聴者は 18 名 神奈川県や茅室町からの傍聴も

質問議員	質問内容	総合振興計画での位置づけ	頁
青野 敏	鷹栖地区に健康づくりの施設を	 施策⑨「みんなで主体的に取り組む健康づくり」	9
斉藤 哲子	高齢者に対する交通支援は	 施策⑯「生活インフラの適正な整備と管理」	10
片山 兵衛	デジタルを活用した情報発信を	 施策⑳「戦略的な情報発信」	11
川原 允	町営デマンドバスの利用促進を	 施策⑯「生活インフラの適正な整備と管理」	12
林川 伸二	独立採算制確立と負担の公平性は	 施策㉒「持続可能な行財政運営」	13

一般質問の内容と関連する第8次鷹栖町総合振興計画の施策を記載しています。総合振興計画は右のQRコードからも確認できます。



5名の議員が町政を問う

一般質問

争点の提起

「次回も聞きたい」

Interview Takasu



初めて、議会を傍聴しました。日頃から疑問に思っていたことの質問が多く、答弁もとても理解しやすいものでした。

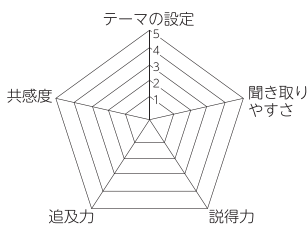
町議会を身近に感じることができました。次回も聞きたいと思います。

石山 悦子さん
(鷹栖地区)



こちらから質問内容を紹介した動画をご覧ください

通信簿の評価



一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています

「議会と市民の距離感が近い！」

Interview Takasu

斬新な一般質問の通信簿は市民が議会に興味を持つ、画期的な制度だと思います。

今回の一般質問は、子育て・福祉・交通・情報発信・水道と市民生活に身近なものばかり。熱心に聞き入る傍聴者の姿が印象的でした。開かれた議会の取り組みを参考にさせていただきます。

神奈川県厚木市議会議員
岩崎 一弥さん



一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につながる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。



通信簿に書かれた各質問議員への傍聴者の方からのコメントの一部を、なるべく原文に近い形でページ下部に掲載しています。

鷹栖地区に健康づくりの施設を

町長 新たな大規模施設整備は難しい状況



「近くにあればもっと利用したいけどね。」
「身体を動かすのは楽しいよ。」
などと利用者の皆さんがおっしゃっていました（青野）

北野地区のフィットネス倶楽部コレカラに

より、住民の健康意識が高まり、健康増進や介護予防に成果を上げています。

鷹栖地区にも住民参加型の介護予防施設が必要ではないでしょうか。

町長 新たな大規模施設

整備は難しいと考えています。北野地区の施設を多くの町民が利用できるよう、公共交通全体や利用者ニーズを含めて検討します。高齢者に限らず、働き世代からの未病も重要なので対策を検討していきます。

質問 各地区の住民センターや施設で行われている健康づくり講座や体操教室などの活動は重要です。

これらの活動に対する行政支援の拡充が必要では。

町長 活動を行っている

地域や団体の状況を把握し、誰もが楽しく健康づくりに取り組める環境整備に努めます。

情報発信は足りない部分があると認識していますので、小さな団体の活動も確認しながら、実態に合った広報を整備していきます。

保育園統合後の体制は

質問 北野・鷹栖両保育園の統合は、本町の子育て環境と子育て支援の充実が最大の目的です。

職員の適正配置、0歳児保育の受け入れ、一時保育、病後児保育、延長保育の拡充、通園方法などの課題を解決する体制は。

町長 職員体制は、正職

保育士の採用を行い、常勤会計年度保育士を適切に配

置し、各クラスの担任は基本的に正職保育士が行う体制を整えます。

0歳児保育は20人までの受け入れ体制を整え、月齢の引き下げも現場の声を聞いて検討を始めます。

一時預かり保育は担当する常勤保育士を配置し、希望に沿った受け入れができるよう努めます。

延長保育は午前7時から午後7時までとし、北野地区からの通園支援として、登園・降園バスを運行する予定です。

質問 1クラスの人数が増えることで、子供たちを預かる環境や先生方の対応に問題はありますか。

健康福祉課参事 そのような懸念は認識しており、使える部屋を上手に活用し

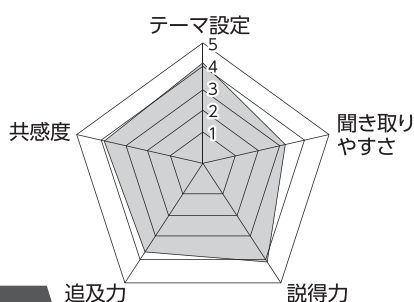
運営したいと考えています。また、定期的に園長・保育士等と打ち合わせをしていきます。

質問 統合後に拡充される新たな保育サービスを実施するためには、保育園内に引き続き事務担当職員の配置が必要では。

町長 地域や小学校との連携等を考慮し、統合後も保育園内に事務管理担当職員を配置する考えです。



あおの さとし 青野 敏 議員



「各地区の自分の近くで健康づくりができること。本当に大切!!」
「聞きとりづらいときがあった。」

高齢者に対する交通支援は

町長 町民の皆さんとの合意形成を大切に解決策を探る



町内 NPO 法人愛・び・すけっとの活動風景
高齢者支援の需要は高まる一方で

町長 増額してほしいという意見はありますが、交通費助成だけに頼らない持続可能な高齢者交通支援、交通体系を構築することが重要と考えています。

質問 旭川市や札幌市で行っているような、負担金を出してもらって助成するという方法を検討しては。

町長 公共交通を必要なたたの声を聞いて、何が一番必要なのか、行政としてどう支援しなくてはいけないのか考えていきます。

質問 ボランティア団体による支援活動の実態と課題をどのように把握していますか。

町長 NPO 法人のサービスは手助けが必要な人に対し、地域で支え合う日常生活支援です。買い物や病院への付き添いなど、需要

鷹 栖町の暮らしの満足度・重要課題をアンケートで見ると、避けて通れないのが高齢化とそれに伴う買い物や交通の不便さです。

質問 高齢者への1万円交通補助は長い間変わっていません。交通費が値上がりする中、実情に合っていると考えていますか。

高齢者の交通支援について、町民のニーズをどのように捉えていますか。

が高くなっていることも把握しています。

町としては補助金を出し団体活動の支援を行っていますが、メンバーの高齢化、担い手不足などが懸念されています。活動を支える仕組みや担い手確保など側面的支援を行うことが重要と考え、共に考える環境づくりに努めていきます。

質問 2024年の春、ライドシェア制度が解禁になりました。

一般のドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶことができ、タクシー会社やボランティア団体の人手不足・高齢化をカバーすることに繋がります。

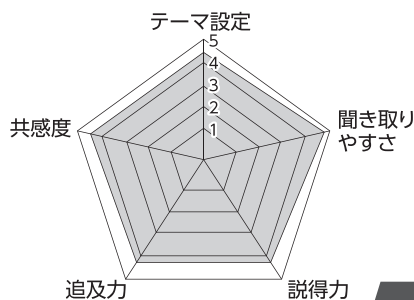
アの仕組みづくりを調査研究してみても。

町長 この制度は交通空白地域を抱える地区において課題解決に繋がることから、既存の公共交通の利活用も含め、地域住民と議論する場を積極的につくりたいと考えます。

官民が連携し、適切な移動手段を確保することで、安心して住み続けられるまちづくりを目指します。



「身近な問題であり、今後の展開を期待します。」
「交通費補助の自己負担チャージの考え方が良いと思いました。」



さいとう てつこ
齊藤 哲子 議員

デジタルを活用した情報発信を

町長 必要な情報を適切に発信していく

191号
10頁

町では事務事業の改善のため、その成果や効率性などを客観的に評価し、事業ごとにシートを作成しています。これの公開について2023年6月に質問し、前向きな答弁がありました。



鷹栖町公式インスタグラムでは工夫を凝らした楽しい動画が公開されていて、人気があります

SNSなどの普及により情報伝達のスピードが向上し、情報収集の方法も変化しました。町民への情報発信は町政への理解を深化させ、住民参加を促進させる重要な使命を担います。双方のコミュニケーションについての考えは。

町長 オンラインでの「町長への手紙」を試験的に実施、SNSでの旬な情報の配信も進めています。危険性についても認識し

質問 必要な情報を適切に発信する必要があります。

町長 現在のホームページは2022年度に開設しましたが、目的ページへの到達が難しいなどの意見があります。見やすく操作しやすい環境に改善していきたいと考えています。

質問 更新サイクルが短い印象があります。次のリニューアルでは長く親しまれるよう、新たな技術にも対応できるようにする必要があります。

町長 住民からの意見を幅広く聞きながら進めていきたいと考えています。

質問 デジタル格差対策として、スマホ教室だけでなく、デジタルサポーター制度や若い世代と高齢者のデジタルでの世代間交流などの工夫も必要では。

町長 デジタルの活用は生活の質向上につながりま

すので、段階的に進めていきたいと考えています。

質問 動画による情報発信の強化も重要です。執行方針演説などの動画配信も有意義では。

町長 新年度からの配信に向け検討します。まちづくりを身近に感じていただけるよう努めます。

質問 町長自身がSNSを活用する考えは。

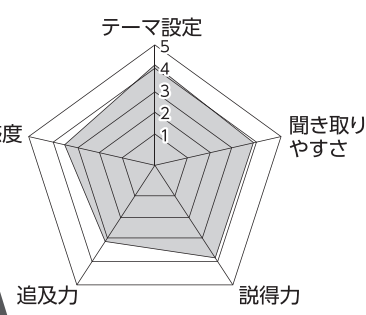
町長 SNSは有用性を感じていますが、顔を合わせての対話を大切にしていきたいと考えています。

質問 事務事業評価の公開について、進捗状況は。

町長 7月の政策ヒアリングでの評価検証結果の公開を想定し、現在、各課と協議中です。

質問 役場からの通知などを希望者に対し、デジタルでの配信に切替えていく考えは。会議などもオンライン参加できることを周知することに参加促進につながるのでは。

町長 デジタル通知は効率化につながります。オンライン参加も積極的に進めたいと考えますが、高齢者への配慮も必要です。



かたやま ひょうえ
片山 兵衛 議員



「テーマを少ししぼった方が深掘りできると感じました。」
「声が大きく聞きとりやすかった。」

町営デマンドバスの利用促進を

町長 利用機会の増加に努めます



事前の電話予約に応じて運行するデマンド方式で運行。自宅前までバスが迎えに行きます。ご予約はこちらから 0166-87-5489 (みどりハイヤー)

い方を知らないということもあります。利用機会を増やしていきます。

質問 利用促進のため料金を下げる考えは。「ワンコイン(100円)バス」を期間限定で実施し、利便さを伝えては。

町長 利用料金を下げる考えはありませんが、アイデアとして伺います。地域公共交通活性化協議会で意見が多ければトライしても良いのかなと思います。

質問 江丹別線が廃止され交通空白地帯となっている地区があります(3、5区、天満、8区)。要望を調査する考えは。

町長 実態と要望を調査します。交通課題は町営デマンドバスだけで解決できるものではありません。有償旅客運送の制度を研

究している地域もあります。広い視野で問題を解決することが必要です。また、地域運営組織と協力して、実態を調査する予定をしています。

質問 町民の公共交通への満足度は低くなっています。総合振興計画後期計画で分野横断的に取り組む重点施策として明記しては。

町長 新しく明記する予定はありませんが、計画の中で、もう少し力を入れていくべきと考えます。

鷹栖高校の交通課題

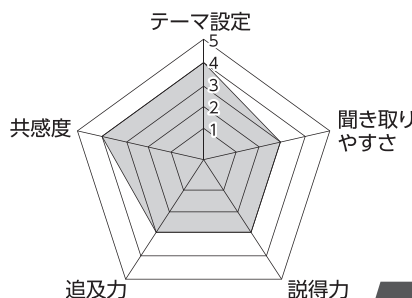
質問 高校生はバスの本数の少なさに課題を感じています。増便の考えは。

町長 実態について道北バスにお伝えします。

質問 旭川市内より冬期徒歩通学をしている学生が町営デマンドバスを利用できるようにしては。

町長 現在、徒歩通学している2名に実態を確認したところ、道北バスが利用できない状況ではなく、町営デマンドバスの利用までは希望してないとのことでした。

今後とも高校と継続的に情報交換しながら実態に即した検討をしていきます。



かわはら まこと 川原 允 議員

中 中央北成線・北斗知遠別線を運行する町営デマンドバスの現状をお聞きしながら公共交通全体について質問します。

保育園の送迎や老人会の団体利用を含めると、2024年度の利用者は年間6259人です。

日常の交通手段として利用している一般利用者の人数は。

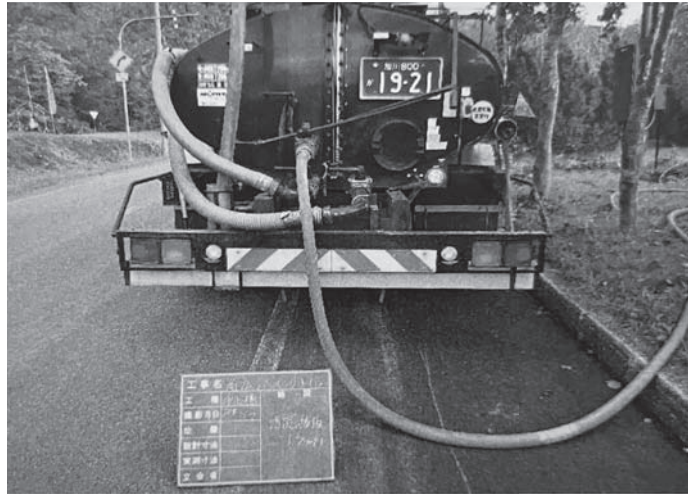
町長 中央北成線については利用者2955人のうち1034人、北斗知遠別線は利用者3304人のうち317人です。

質問 一般利用者は少ない現状です。日常的な交通手段として浸透していないのでは。

町長 免許を返納された方が町営デマンドバスの使

独立採算制確立と負担の公平性は

町長 現状の内容を確認し進めていきたい



合併浄化槽は、汚泥や水面上の浮遊物が蓄積されると、浄化機能が低下するため、年1回清掃と汲み取りが行われています

汚 水処理にかかる費用は居住地に関わりなく極力同じにすべきと考えます。

合併浄化槽への町補助金を増やす考えは。

町長 町の平均世帯員数である2〜3人世帯のモデルケースで状況を分析しています。合併浄化槽は年間5万5000円〜5万8000円の経費、下水道は使用料と都市計画税で年間4万7000円〜6万2000円です。

このことから、大きな差がないと認識しています。

質問 モデルケースが実態と合っていないですね。下水道使用料決算額は役場、公民館、企業分を含んだ額ですが、利用世帯数で割っても使用料税込みでは4万8000円しか払っていない状況になります。そういう意味では1万円以上の差があるのでは。

町長 数字の詳細を確認し、必要があれば検討することを約束します。

質問 老朽管の過去5年間の更新率は平均0.5%以下です。管路の重要度や劣化状況を考慮した優先順位づけを行い、計画的な更新を進める考えは。

町長 耐用年数だけでなく重要度や劣化状況を考慮し、10年間の更新計画に基づいて進めています。

質問 上下水道料金の経費回収率が100%を下回っています。料金改正についての考えは。

町長 2026年度に分析結果を審議会に示し、使用料金の改定の答申をいただいた場合には、住民説明会で説明していきたい。

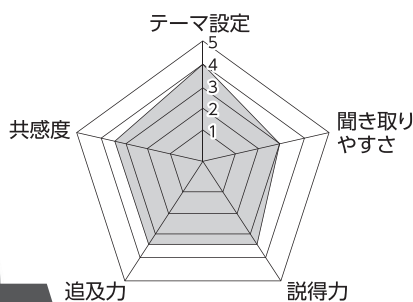
質問 独立採算制で福祉施設への減免措置はありません。道内の大都市で福祉施設の減免をしているのは旭川市と函館市だけです。旭川市は、独居高齢者世帯や生活保護世帯への減免を今年から廃止し、福祉施設についても減免を廃止しようと考えています。本町の考えは。

町長 減免については審議会の中で検討され、町民説明会の中でも説明し理解をしていただいた経緯があります。

ただ、原理原則に則ってということと課題があると認識しています。検討させていただきます。

質問 市街化区域内で下水道を利用しない方が28名います。この方々は、都市計画税として下水道料金を負担しています。解消する考えは。

町長 下水道処理区域内に居住され下水道を利用できる環境が整備されていたとしても、利用されるかどうかは居住者のそれぞれの事情があつてのことと考えています。



はやしかわ しんじ
林川 伸二 議員



経済
福祉

スマート農業 先進地の岩見沢市を視察
鷹栖町内市街地の除雪課題解決に向け担当課と協議継続

10/28

所得向上や労働環境の改善により「職業」としての魅力向上へ



遠隔操作で無人トラクターを操作する技術も確立

ます。世界最先端の農業ロボット技術と情報通信技術の活用による世界トップレベルのスマート農業およびサステイナブルなスマートアグリシティの実現が目的です。

5G技術を活用した無人ロボットトラクターの技術やスマート農業の展開を見据えた基盤整備のあり方を学びました。

本町がスマート農業を推進する上でも早期に地域の合意形成を図り、基盤整備を進めることが重要であることを再認識しました。

2013年農業者が設立した「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」がスマート農業発展の契機になりました。
2019年岩見沢市はNTTグループ・北海道大学と産学官協定を締結してい

所管事務調査は前号でも活動報告を掲載

196号
23頁



町は夏から秋にかけて、鷹栖町内市街地8町内会と協議を行いました。
除排雪体制の現状を説明し、交通安全上危険な場所などを聞き取りを行いました。今冬からの除雪作業に活かされます。
堆積される雪が課題に挙げられた道は交差点の排雪が1回増やされることになりました。
今後は3年ごとに同様の協議を行っていきます。

12/16

除排雪作業の改善がすすむ

総務
文教

2025年度の調査テーマ「公共交通」に設定



7月の所管事務調査（報告記事は196号）後には、担当課を交えて振り返りを行いました

総務文教常任委員会では2024年度は主に「学校」について調査研究を進めてきました。（「ごみ問題」も継続調査中）。

学校施設については、雪解け後に建物の状況調査を実施する予定です。

2025年度のテーマについても協議し、「公共交通」に設定しました。

交通の課題は第8次鷹栖町総合振興計画の後期計画においても重要な施策とし

て位置づけられています。2024年5月には地域公共交通活性化協議会も設立され、この課題に対してより深い調査研究が必要とされています。

高齢者の交通手段については経済福祉常任委員会で調査研究してきています。この情報も共有しながら、

町民の皆さんとの懇談会や先進事例の研究などを通して、しっかりと時間をかけながら取り組みを進めていく考えです。



寸断されていたパレットヒルズの道路
事故後、崖をなだらかにするなど再発防止の対策を行なっています

第4回
臨時会

11/11

パレットヒルズでの負傷事故 和解金に550万円

衆議院議員選挙執行に伴う経費の専決処分の承認、和解と損害賠償額、一般会計補正予算（5回目）を審議し、全会一致で可決しました。

和解

パレットヒルズ公園内で起きた負傷事故の損害賠償の和解金として550万円を支払うことが決まりました。臨時会では支払いのための補正予算も審議しました。

【事故の経緯】

2021年7月、当時から学生の男性が自転車運動中に道路が寸断されていた

※ 損害賠償金は全国町村会の損害賠償保険で対応。

め約2メートルの崖から転落し、顔に傷を負う事故が発生しました。

2024年になり、被害者が町に対し損害賠償を求めて提訴しましたが、旭川地裁の仲介により和解が成立しました。

第5回
臨時会

11/29

「印鑑の登録および証明に関する条例」 条文の記載をめぐる反対意見出される

人事院勧告に基づく鷹栖町職員の給与に関する条例、ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例など4つの条例改正、一般会計補正予算（6回目）を審議し、可決しました。

条例 健康保険証の廃止に伴い条例改正 印鑑の登録および証明に関する条例

健康保険証の廃止に伴い3つの条例から「被保険者証」と「組合員証」の文言が削除されました。

このことが関連規則に記載されている（他の2つの条例は条文に記載）ことについて質疑がありました。

なお、有効期限内の健康保険証や資格確認書で本人確認が可能です。

可決 反対1名

林川

討論

本人確認書類の条文での記載の
在り方で賛否分かれる

反対

林川 伸二



マイナンバーカードを持っていない人を一方的に切り捨てる条例には反対です。ひとり親家庭医療費のように、証する書類の提示も認めるべきと思います。

賛成

青野 敏



本人確認書類についての記載が条例から規則に移行しても、保険証や資格確認書で印鑑登録や証明書発行が可能です。町民に不利益はないため賛成します。

町職員の寒冷地手当も民間の暖房費支給額を踏まえ、世帯等の区分ごとにそれぞれ支給額を引き上げた改正がありました。

条例 職員給与・手当 などを引き上げ

人事院勧告に準じ、会計年度任用職員を含む、町職員の初任給と給料月額、期末・勤勉手当などを引き上げました。

期末手当は、議会議員と特別職についても引き上げています。

これに関連して、議員と地域おこし協力隊員の期末手当の増額分が不足するため、前年度繰越金から繰り入れる補正予算が提案されました。



議会のうごき

2024年 2025年
10月12日 ▶ 1月14日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	4回
議会運営委員会	2回
各常任委員会	12回

【欠席状況】

舟根	10/21	広報広聴
林川	10/28	経済福祉
佐竹	10/21	広報広聴
	12/16	経済福祉
坂根	体調不良のため 12/12以降の公務を 欠席しています。	
安達	1/14	広報広聴

総務文教常任委員会→総務文教のように略しています

議員に「タブレット」貸与 活用はじまる



鷹栖町議会は、議会機能の強化を目指してタブレット端末と文書共有システムを導入しました。

【導入の目的と効果】
ペーパーレス化 紙の使用量を大幅に削減し、環境負荷を軽減します。

業務効率の向上 職員の作業の軽減が期待されます。

情報アクセスの改善 大量の資料をデジタル形式で閲覧できるようになり、情報量と検索性が向上します。

透明性の向上 ICT活用により、住民に開かれた議会運営を実現します。



有効活用できるように勉強します！



11月29日の第5回臨時会からタブレットを使つての議会がスタートしました。慣れない面もありますが、メモやラインマーカーも使える機能的です。有効に活用できるよう勉強しています。(安達)

議員報酬の在り方考えます

議会議員報酬調査特別委員会を設置

2021年に設置した定数等調査特別委員会は、「①議員報酬は現状維持とする。②今後は町民の理解を得ながら検討すべきである。」という報告のもと委員会を閉じました。

188号9ページに報告記事あります



【目的】

- ①議員のなり手不足対策として、多様な層の人材が参画できる報酬を検討する。
- ②政務活動費がない現状の中で、議員活動は、多様化し活動量も増加しているのので、活動に見合った報酬を検討する。
- ③議員活動の見える化に取り組み、町民の理解を得てから報酬を検討する。

2027年からの議員報酬を検討するため、第4回定例会で鷹栖町議会議員報酬調査特別委員会を設置しました。

委員長 片山 兵衛	副委員長 斉藤 哲子	委員 桑原 芳文	委員 坂根 玲子	委員 舟根 輝好
--------------	---------------	-------------	-------------	-------------

5名の委員を中心に調査を行います。最終的には議員全員で方針を決めます

※ 全員での協議の結果、定数については変更の必要がないため今期は調査を行わないことになりました。

舟根議員が辞職

舟根議員から辞職届が提出されました。12月18日付けです。

これに伴う議会の具体的な変更内容については後日お知らせします。



議員報酬は月16万5000円、これに約4カ月分の期末手当が2回に分けて支給されます。政務活動費や議員年金は現状ありません。

次回定例会・クイズ

2つの講演を聴講しました
 上川管内町村議会議員研修会
 東神楽町文化ホール「花音」
 10/22

金井利之氏による「議員のあり方 議会のあり方」と佐藤喜和氏による「待ったなしのヒグマ管理の現状と課題」の2つの講演を聴講しました。

前者では、多様性を実現できるはずの議会だが、有象無象が議員になっている現実があることなど課題が提示されました。

後者はヒグマの生態から対策を提示し、議会としての役割も具体的に示していました。

VOICE

議会傍聴者をはじめとする皆さまの声を紹介します。

新聞折込チラシにハッキリと「日時」として「開始時刻」を明記してほしい。

開始時刻は重要ですので、わかりやすい表記を心がけます。

所信表明の資料は、文字を読みやすく大きくされているのはありがたいが、行間を詰めるなどすれば紙の枚数を半分くらいにできるかも。「もったいない老人」の考えです。

議会で用意した資料ではありませんが、どなたでも読みやすい配慮と資源の節約のバランスを考えると指摘を行政とも共有します。

傍聴席では発言者の音声が聞き取りにくい場面があった。傍聴席にスピーカーを設置するなど検討してほしい。

ご意見ありがとうございます。スピーカー設置に限らず、聞き取りやすくする工夫について、検討します。

他自治体でも取り入れているように、議会中継（インターネット）を導入した方が良いでしょう。

議会中継の導入は検討を続けています。課題を一つずつ丁寧に解決しながら、行政と議会が協力して前進していくことが重要です。段階を踏みながら慎重に検討を進めていきます。

次回の定例会は〈予算審査〉

3月10日(月) ▶ 14日(木)



傍聴者が評価できる
 予算審査！
 よい質問をした議員に
 ニコちゃんシールを貼
 ることができます！

- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはぴねすで中継を予定しています。

くしゃくそら クイズ

商品券1000円分が
 抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。答えはこの議会報「孔雀草」の中にあります！

問1 4期目を迎えた谷町長が第4回定例会において、○○を表明しました。

問2 第5回臨時会から○○○○○端末を導入しました。

問3 「○○○のつどい」の実行委員4名と議会が意見交換をしました。

応募方法などは裏表紙に記載しています

ウェブでも回答できます▶



《クイズ応募方法》
 クイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。

- ①よかった記事
- ②こうしたらもっとよくなる など、アドバイスもお願いします。

《あて先》
 議会事務局（住所などは裏表紙に記載）

《しめきり》
 2025年2月28日(金)
 消印有効

ご記入いただきました個人情報、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《前回のクイズの答え》

問1 未来提言 問2 84 問3 3410



2025年はたけのこ
実行委員長



唐崎 椋太さん(北野地区)



仕事も遊びも全力で!!!

地域の皆さんに支えられ成長

私は、高校卒業後に目標としていた鷹栖町役場に就職することができ、現在は産業振興課に配属されています。

「ふるさと共育」の一環で若手農家さんと協力して小学生の脱穀体験を行うなど、日々の業務の中で地域住民とのつながりが深くなっていくことへの喜びとやりがいを感じています。

一方で、仕事を任されることの責任の重さや、自らの力のなさに悩み、町民に貢献できているのかと不安に感じることも多いです。しかし、業務を行う中で、町民の方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたときは、自分の行っていることは間違っていないのだと思うことができ、少しずつですが自信がついてきました。

私自身、今後もいろいろな人とかわかり、支えられながら生きていきたいと思います。その中で少しでも自分にできることを増やしていき、仕事でも人としても成長し、皆さんに恩返しすることが今の私の目標です。

「福祉のまち」から「福祉でまちづくり」へ

生まれも育ちも鷹栖ですが、20年程の出稼ぎから戻ったUターン組です。

仕事は、児童福祉に始まり障がい福祉、現在は地域福祉を生業とし、かれこれ50年が経とうとしています。

最近では、社会福祉士の養成にも関わらせていただき学生には、【社会資源は無限】と説いています。住民や地域のどの活動にも使命や情熱が有り人々の暮らしや福祉に寄与しています。

社会資源の一つである町内会では、各団体の負担金、助成金、寄付金等が会費の1/3を超え町内会の自主事業に影響も出ています。

地域の暮らしを支え、住民の居場所となっているこうした社会資源を活かすのは、福祉に係る人たちの役割とも考えます。

そうした一端を担う組織として社会福祉協議会も考えられますが、社会資源に目を向けられる体制にあるのか期待もし心配もしているところです。

社会福祉士事務所「ぼとん」を設立



西中 裕一さん(北野地区)



「ひきこもり」や「孤独死」を出さないために、一人ひとりを大切にするコミュニティ「たかすおせっ会」活動の様子

